



陸軍航空の黎明と航空教育

～下志津飛行学校を中心に～

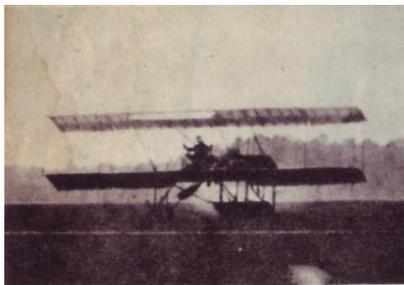
陸軍航空の黎明期の教育が千葉県で行われたのをご存知ですか？ 下志津では、日本陸軍に本格的な航空技術をもたらしたフランス航空団の活動以降も、偵察を中心とした航空教育が行われました。大正8年（1919）所沢に陸軍航空学校が開校され、さらに大正10年（1921）には下志津分校開設、大正13年（1924）には下志津飛行学校として独立し、偵察飛行訓練を含む様々な教育が行われました。今回下志津で行われた黎明期の陸軍航空教育の様相、日中戦争に突入した頃のその役割変化（毒ガス研究を含む）など、歴史の一断面について考えてみたいと思います。



陸軍航空学校下志津分校の教材の一部
(陸軍歩兵学校の空中写真)



下志津陸軍飛行学校本部



ファルマン飛行機



乙式一型偵察機の編隊飛行

日時： 平成30年 5月27日(日)10時～12時まで (9時45分開場)

場所： **アミュゼ柏 会議室B**

柏市柏6丁目2-22 ⇒ アクセス: 柏駅東口より徒歩7分

講師： 森 伸之(軍事史学会)

費用： 会員 100円 会員外 300円(資料代など)

その他： 駐車場は隣接してありますが、有料です。
なるべく事前にメール等でお申し込み下さい。

主催： 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】

E-Mail : info@matsugasaki-jo.net TEL : 090-3579-5185 森 (平日は18時以降で)

会誌「水辺の城」創刊号
現在頒布中 第2号発行予定



神田神保町 六一書房でも販売